

## 導入研修 カリキュラム

研修目的	福祉施設で働く上で必要な知識を身に付ける
------	----------------------

日程	時間(分)	タイトル	担当者	狙い	指導の視点、及び具体的方法
1日目	90	<b>障害を患っている方へのコミュニケーション</b>	磯田 達	障がいを持っているご利用者様、職員同士がともに高め合えるコミュニケーション力を身に付ける。	・視覚障害、言語障害を患っている方の体感をし、障害の不自由さを理解することで、利用者への接し方を理解する。
	90	<b>多職種連携</b>	磯田 達	多職種の役割を理解することによりチームケアをより強固なものにする。	・多職種の強みの共有 ・連携がとりやすい関係性作り
	90	<b>尊厳の保持 (虐待予防、身体拘束予防)</b>	磯田 達	尊厳についての理解を深め、それに対し、自分がどんな職員になりたいかイメージ出来る事を目指す。 虐待、身体拘束の基礎知識を学ぶことにより、ご利用者様の尊厳を大切にできる職員を目指す。	・介護職の基本的な考え方 ・虐待の種類について ・身体拘束の内容と、やむを得ずに行う場合の扱いや心身の変化について ・チームでの虐待予防
	90	<b>介護保険制度 (基礎)</b>	磯田 達	介護保険制度を利用してできるサービスの理解をすることによりコンプライアンスへの意識を高める。	・介護保険でできること、できないこと ・介護保険でできる医療行為の範囲 ・介護保険外のサービスについて

日程	時間(分)	タイトル	担当者	狙い	指導の視点、及び具体的方法
2日目	60	<b>リスクマネジメント</b>	磯田 達	適切な事故への対処、事故防止ができ、安全な介助が行えることを目指す。	・ヒヤリハットの重要性 ・事故対策の事例(GW) ・多職種(多くの目)で事故を分析する
	60	<b>非常災害時の対応</b>	磯田 達	非常災害時に適切な対応を効率的に行えることを目指す。	・非常災害とは ・災害に対する事前の備え ・BCPの策定
	90	<b>技術演習 移動・移乗</b>	磯田 達	基礎技術を学ぶことにより、実践で即戦力になる職員を目指す。	・ボディメカニクスの基本について把握する。 ・体位変換、上方移動、水平移動、仰臥位⇄端座位、移乗を利用者役、介助者役に分かれ適切な対応、不適切な対応を体感する。 ・体格差のあるご利用者様の対応
	60	<b>ターミナルケア</b>	磯田 達	これから関わるご利用者様一人ひとりについて、自分が最期の対応になるかもしれないという自覚を持てることを目指す。	・終末期の関わり ・ここに来てよかったと思える『最期』の迎え方 ・看取り後の家族への対応
	90	<b>介護過程</b>	磯田 達	安全で安心できる介護を行うためのマインドを身に付ける	・ICFの基本理念 ・エビデンスに基づいたアセスメント